

写真・映像資料 PHOTOS/MOVIES

ポイント

現存する沖縄戦中の写真・映像記録はほぼ米軍が残したものです。

◆ 写真資料

沖縄戦中に、陸軍、陸軍航空部隊（のち空軍として独立）、海軍、海兵隊、沿岸警備隊などが撮影した写真が約1万枚あります。館内のほか、ホームページでも公開されています。

◆ 映像資料

米国国立公文書館から直接収集した映像が約150タイトル、NHK沖縄放送局から寄贈を受けたものが574タイトルあります。

◆ 空中写真

沖縄の地勢分析や戦術地図作成の目的で米軍が1944年から45年にかけて撮影した空中写真が約3,500枚あります。戦前の町並みが記録されていてたいへん貴重です。

当館ホームページ ON THE WEB



米軍が撮影した沖縄戦の写真約1万枚、映像フィルム約120本が当館ホームページで公開されています。

- これらはすべてデジタル化されており、ノートパソコンを持参すれば無料で複写できます。
- パソコンを持参できない場合、業者依頼することもできます。（有料）

PATH FINDERとは？

パスファインダーは「道案内」を意味します。ある特定のトピック（主題）や資料群に関する情報を分かりやすくまとめたツールです。

《パスファインダー一覧》

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 飲食店マップ | 16. 立法院会議録 |
| 2. 地籍調査 関係資料 | 17. 軽便鉄道 |
| 3. 家譜 | 18. 沖縄移民 関係資料 |
| 4. 市内バス案内 | 19. 宮森小学校ジェット機墜落事故 |
| 5. 新聞資料 | 20. アーカイブズと著作権 |
| 6. 軍雇用員カード | 21. 沖縄国際海洋博覧会関係資料 |
| 7. 空中写真 | 22. 毒ガス移送 関係資料 |
| 8. 写真資料 | 23. 10・10 空襲 |
| 9. 沖縄戦 関係資料 | 24. 見学受付 |
| 10. 閲覧室へようこそ | 25. 資料検索のコツ |
| 11. はじめての公文書館 | 26. 通貨交換 |
| 12. 小・中学生の皆さまへ | |
| 13. 米国収集資料 | (令和5年4月30日現在) |
| 14. USCAR 文書 | |
| 15. 対米国民政府往復文書 | |



くわしいことは
閲覧スタッフまで♪



沖縄県公文書館 閲覧室

[9:00-17:00 休館日:月曜・祝日]

※閲覧申請の受付は16:30迄

〒901-1105
沖縄県南風原町字新川148-3

TEL :098-888-3871
FAX :098-888-3874
Email :reference@archives.pref.okinawa.jp

PATH FINDER No. 09

沖縄戦 関係資料



『米空軍コレクション 第二次大戦シリーズ02』
【資料コード：0000112235 写真番号:14-11-2】

廃墟と化した那覇市街（1945年）

写真キャプション「地上部隊と協力する陸軍航空隊観測機から撮影した沖縄の中心地、那覇。ほぼ完全に一掃されたのがわかる。」（※写真中央は天妃小学校）



沖縄県公文書館
Okinawa Prefectural Archives

沖縄県公文書館が所蔵する主な沖縄戦関係資料を紹介します。



日本側資料 JAPANESE MATERIALS

ポイント

- ① 当館が保管しているいわゆる戦場での戦闘に関する日本軍資料はラサ島（沖大東島）関係資料のみです。*（*日本軍資料の多くは、沖縄戦中に米軍によって鹵獲（ろかく）されたため、沖縄には残りませんでした。そのほとんどは1950年代に日本政府に返還され、現在、東京にある防衛省防衛研究所で保管されています。その多くは国立公文書館アジア歴史資料センターのHPから閲覧可能です。）
- ② その他には、戦後の恩給・援護関係事務のために琉球政府及び沖縄県が管理していた文書が当館に引き渡されています。

◆ ラサ島関係資料

ラサ島（沖大東島）守備隊長として1年10ヶ月従軍した森田芳雄氏が所有していた陣中日誌、兵用地図など約20点です。

◆ 琉球政府文書・沖縄県文書

「戦傷病者戦没者遺族等の援護に関する文書」「旧軍人軍属の復員処理に関する文書」など、沖縄県援護課から引渡しを受けた文書があります。

▼ 陸軍兵籍簿

いわば“軍人の戸籍”とも言える文書で、214冊保管しています。そこに含まれる「陸軍戦時名簿」には、留守家族の住所氏名、服役区分、位階、勲等勲級、官等級、履歴などを記されています。その他、野戦病院での病床日誌、病歴書、死亡証明書などが添付されている場合もあります。

- ※ 当該個人は、本籍、氏名、生年月日で特定します。
- ※ 「海軍兵籍簿」については、県福祉政策課(098-866-2164)までお問合せください。

※ これらの文書の多くは、個人情報を含んでいるために、現時点は本人もしくは三親等以内の親族のみの閲覧となっています。詳しくは閲覧カウンター職員にお尋ねください。

米側資料 U.S. MATERIALS

ポイント

- ① 海上戦に関する資料は当館が米国国立公文書館等から直接収集しました。ただし、沖縄戦関係資料は膨大に存在するため、当館が収集できたのはほんの一部にすぎません。
- ② 米陸軍や海兵隊など地上戦に関する資料は東京の国立国会図書館を通じて入手しました。

◆ 地上戦関係

▼ 陸軍高級副官部文書

「第2次世界大戦作戦報告書」シリーズの中から「太平洋戦域」「第10軍」「第24軍団」「第7歩兵師団」「第27歩兵師団」「第77歩兵師団」「第96歩兵師団」「第441防諜分遣隊」の部隊文書を収集しました。

▼ 海兵隊文書

「海兵隊地理ファイル」シリーズの中から機動部隊、第3水陸両用軍団、第1海兵師団、第2海兵師団、第6海兵師団のほか、米陸軍第10軍配下の部隊文書を収集しました。

◆ 海上戦関係

沖縄戦では海上でもしれつな戦いが繰り広げられました。空母、戦艦などで構成された米海軍任務部隊の各種資料は次のシリーズ等に含まれています。

▼ 海軍軍令部長室文書

- ・「第2次世界大戦作戦計画書、指令及び関係文書」
- ・「第2次世界大戦作戦報告書」
- ・「第2次世界大戦作戦日誌」

▼ 海軍作戦部隊文書

- ・「太平洋における米海軍潜水艦戦時パトロール航行図」



◆ 暗号解読関係

米軍は日本軍の暗号解読に成功し、戦術に生かしていました。暗号の英語訳が次のシリーズに含まれています。

▼ 海軍軍令部長室文書

- ・「傍受敵国無線翻訳文及び第2次世界大戦関係雑書」
- ・「インディアナ州クレーン海軍支援グループ図書館ファイル」

◆ 基地建設関係資料

米軍が上陸直後から日本本土決戦に向けて取り組んだ航空基地建設関係資料が以下にあります。

▼ 工兵局長室文書

- ・「基地、飛行場建設関係」

◆ アイスバーグ作戦戦術用地図

1944年から45にかけて米軍が撮影した空中写真を基に作られた2万5千分の1の戦術用地図です。1,000ヤード四方の方眼がオーバープリントされていて、作戦報告書等に出てくる地理コードの位置を特定するのに有効です。

◆ 対日戦略関係資料

対日戦の戦略策定過程を調べるには、米軍「制服組」のトップである統合参謀本部の次の2つのシリーズが有効です。

▼ 統合参謀本部分書

- ・「十進主題別ファイル」
- ・「地域別ファイル」



証言記録 ORAL HISTORIES

そう

◆ 宮城聰資料

琉球政府は、1960年代後半、沖縄戦における県民の体験を記録に残す取り組みを行いました。その成果は、『沖縄県史』第9巻 各論編8 沖縄戦記録1（1971年）、第10巻 各論編9 沖縄戦記録2（1974年）となって結実します。この資料群は、そのうち第9巻の編集委員であった宮城聰氏のコレクションです。

同資料群は北谷、中城、宜野湾、浦添、那覇、南風原、糸満、東風平地域の証言に関する音声資料332件、県史原稿93件等から成っています。この中には『沖縄県史』に収録されなかった証言記録も含まれています。



戦後20年頃の、まだ多くの戦争体験者がご健在だった時期の体系的オーラルヒストリーとして貴重です。

※ 音声資料の中には利用制限がある資料も含まれています。詳しくは閲覧カウンター職員にお尋ねください。